

「24期生保護者の皆さまへ」

校長 安田 幸一

卒業を迎えられる保護者の皆さま、お子さまのご卒業を心よりお祝い申し上げます。

24期生にとっての3年間は世の中、学校内ともに、激動の3年間であつたのではないのでしょうか。

感染症対応に振り回され続けたこと、入試体制がなかなか定まらないし、進路の情報が得にくかつたこと、今宮高校の系列変更に伴う校内の変化があつたこと等、今までになくいろいろなことがありました。きっと不安、不満を抱える生徒さんも少なからずいたことと思います。お子さまがその荒波を乗り越えて卒業まで頑張つたのは、保護者の皆さまのご理解とご協力があつたことと強く感じており、感謝のことばしかありません。

これからの社会を生きていくのはお子さま自身であるとはいえ、これだけ世の中の変化が大きいことを感じる昨今ですので、将来を考えると心配になることはありませんか。それでも、保護者の皆さまだけでなく我々教員も彼らのエンパワメントを信じるしかありません。

私自身は関東の大学に進学したため、一人暮らしを経験しました。その時に実感したことは、「今まで親を頼って生きてきたのだ。守られていたのだ。」ということでした。衣食住すべてにおいてそう実感しました。そういう意味でも4年間は貴重な時間となりました。必ずしも一人暮らしが最良の選択とは言えませんが、『自立』という言葉は強く意識できました。自分にとっては、大きな転機となつていたことは間違いありません。

今宮高校ではおそらく『自立』ではなく、『自律』の方を多くお伝えしてきたと思います。これからは『自立』を考えなければならないと思います。きっと彼らは立派に成長していき、私たちに自立した姿を見せてくれるでしょう。その成長段階ではこの今宮高校で学んだことが活かされて、良き糧となることを祈っております。さらに社会に貢献する人材となり、活躍されることを望んでおります。もう彼らは成人となります。私達とは大人対大人の関係になります。この先、そういう関係での関わりを楽しみにしております。

卒業生の皆さんと保護者の皆さまのこれからのご多幸を祈願し、お祝いのことばとさせていただきます。3年間ありがとうございました。



『自分らしく 自分なりに』

PTA会長 堀 久美



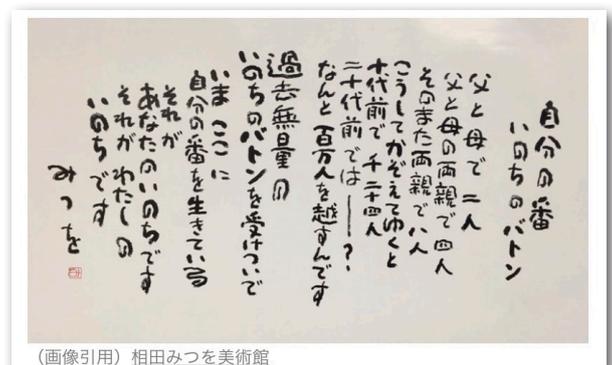
24期生の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。

また、これまでご指導頂きました先生方には、保護者を代表しまして心より御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスにより楽しみにしていた北海道への修学旅行や体育祭、文化祭などの行事が変更になったり縮小されたりと、落ち込む事が続きました。さらに、入試の時期には感染が広がり、不安な毎日を過ごす事になりました。この事に限らず、これから先も予期せぬ出来事が待ち受けていると思います。

そこで、相田みつさんの詩を贈りたいと思います。

もし道に迷っても、抜け出せない暗闇に入り込んでしまったとしても、必ずいつか出口が見つかります。時には足踏みをしたり、遠回りをしたりしながらでも大丈夫!!自分の番を自分らしく自分なりに大切に生きてください。そして、皆さんのバトンが、これから先も受け継がれていく事を願っています。



(画像引用) 相田みつを美術館





幸せな時間を手に入れるために

1組担任 中井 亜樹

あなたはどんな時に幸せを感じますか？
家族と過ごしている時、好きな音楽を聴いている時、美しい景色と出会った時・・・人それぞれ幸せを感じる時があると思います。

私の場合は絵を描いている時やクロッキーをしている時、そんな時間が持てることに幸せを感じています。

さて、私がこの「幸せな時間」を手に入れるためにはいくつかの条件を整える必要があります。経済的な問題。環境。体調。意欲。様々な条件が整って初めて安心して絵を描くことができるからです。そのために働いたり健康に気をつけたり本を読んだりするわけです。努力なしに「幸せな時間」は手に入りません。

では、あなたの幸せはどんな形ですか？あなたはその実現のために今どんな努力をしていますか？小さなことでも努力を続けることで幸せが近づいてきてくれるはず。継続は力なり。そして努力を重ねることで自分の生き方に自信が持てるはず。自信は努力から。

あなたの「幸せな時間」を手に入れるためにこれからも努力を重ね後悔のない毎日を送ってください。その努力が実り幸せな時間を過ごせるよう願っています。



卒業していく君たちにエール

2組担任 金戸 莉乃

卒業おめでとう。24期の皆さんと出会えて良かった、心からそう思います。ホームルームや授業で一人ひとりが礼儀正しく思いやりをもって接してくれ、この1年間たくさんの幸せな思い出を皆さんからいただきました。本当にありがとう。皆さんを今宮高校の卒業生として送り出せることは、私にとって喜びであり、誇りでもあります。

皆さんが卒業後に生きる社会はどのように変わっていくのでしょうか。AIとロボット化によって2025年には最悪の場合、雇用の52%が消失する、という予想がでています。またコロナ以前から世界の中で沈みゆく日本経済でしたが、ポストコロナの時代ではさらに厳しい状況となるでしょう。このような厳しい時代を生き抜くために何が必要なのか。それは、「さまざまな人たちとコラボレーションすることだ」と、日本の著名な思想家である内田樹先生は高校生に向けた講演『ポストコロナの時代を生きる君たちへ』の中で述べておられます。

私たちは互いの異なる価値に触れ、その良さを認め合い協働することで、自分一人では想像もできなかった新しいアイデアが生み出され、一人では到底なしえなかったことが可能となる。だからこそ「仲間づくり」が非常に大切なのですが、コロナ禍にみまわれた皆さんの高校時代は行事が削られ「仲間づくり」の機会が極端に少なかった。大学や専門学校では、自分の家族や気の合う友人同士という狭いサークルだけではなく、偶然同じクラスや職場で出会う人を「仲間」として認め尊重しチームとして何か一つのことに取り組む、という経験を積んでください。「気が合う」「合わない」「好き」「嫌い」など個人的感情はさておき、一人ひとりの持ち味や良さを認めチームの中で活用する。そうすることで自分もまた活かされる、そういう経験をしてください。それが社会に出ていく際の糧になってくれるでしょう。皆さんの前途に多くの幸せと希望を祈りつつ。



第24期生 卒業おめでとう!!

出会いを大切に、『やってみなはれ』の精神で

3組担任 丸山 毅

24期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。こうして原稿を書いていると、色々なことを思い出します。楽しんでる姿が思い出されます。

これからは、何をやるのか指示待ちではなく、多少大胆に状況判断をし、自分で考えて、積極的に行動することがより求められます。

その判断の指標となるのが、「自ら進んでする勉強」になります。この勉強は、机の上だけの勉強ではありません。多くの人との出会い、新しいことへの挑戦と失敗、悩みや挫折、すべての経験を活かす心構えも、貴重な勉強になります。

毎日出会う人や物事を、「すべて自分の成長のための先生」だと考えて、貪欲に吸収して、日々、新しい毎日を送って行って下さい。

最後に、近江商人の言葉を2つ贈ります。

小人（つまらない人）は縁に会って、縁に気付かず。
中人（普通の人）は、縁に気付いて、縁を活かせず。
大人（立派な人）は、袖振り合った縁をも活かす。

お金を失うことは、小さく失うこと。
勇気を失うことは、大きく失うこと。
信頼を失うことは、すべて失うこと。

人生は、出会いと気合いと選択で決まります。不安や失敗や落胆は、長くは続きません。また、会計の世界では、毎日、決算（その日の取引やお金の流れを整理して、区切りをつけること）をします。日々、「心の決算」をして、楽しいことも悲しいことも、すべて区切りをつけて、朝起きたら新しい毎日にしていきましょう。

皆さんの益々のご活躍とご健康を、大いに期待しています。自分を信じて、仲間を信じて、良い出会いを重ねて行って下さい。

いまみや、1・2、わっしょい!

6組担任 西口 直樹

24期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
1年生の時に、のどか村でカレーを作りましたね。あの時、「マスクが必要な生活」なんて予想もできませんでした。体育祭・文化祭が短縮バージョン、スクーリングも日程・行き先変更となってしまいました。予想外の変化が生じるその時々で、24期生のみなさんは柔軟に、また前向きに取り組んでくれました。「予想もできない」事柄に直面した時に、「どのように振る舞う」ことができるか。皆さんの懸命な姿にパワーをもらいました。

2年生の「商品開発」では、OB大西さんの協力もありました。今では珍しいかもしれないかもしれませんが、YouTubeによる動画授業もありましたね。最初は上手くいかず、不安だったけど、みなさんが商品企画に熱心に取り組み、プレゼンを全力でやりきった姿が忘れられません。

3年生では「今高生の主張」に取り組みました。最初、何を書けばいいかわからず、苦戦した生徒も多かったようでした。6月の全体発表では、「ちがいを認め合う」という目標にふさわしい発表会となりました。発表者だけでなく、司会も生徒が運営し、温かい拍手を贈る聴衆の生徒たち一人ひとりが、その素敵なお場をつくりあげました。「磨け知性、輝け個性」が発揮された場だったのではないかと思います。ありがとうございます。

そろそろ結びの言葉を。私が高校生の時、写真を撮るときなどの合言葉が「いーまーみーや、1・2わっしょい!」だった。今日、よければ伝統を引き継いでください。自彊会の活動も、よろしくね!



「未来へ」

5組担任 片山 美紀

♪思い通りにいなくなったら
上手に笑えなくなったら
それでいい それでもいい
でもあきらめたくないから
ときには風が吹いたら
そこには夢が待ってんだ
苦しみの先にある
輝く未来を信じて

24期生のみなさん、卒業おめでとうございます。はじめにナオトインテライミさんの「未来へ」という曲の歌詞を紹介しました。

みなさんにとって、高校生活は我慢を強いられることが多かったかもしれません。これから先も、どんなことがあるかわかりません。私にも、この数年で辛いことがありましたが、投げ出さずにきたから、ここでみなさんと出会い、一緒に過ごして、かけがえのない時間を得ることができました。みんな、本当にありがとう!

大人でもたくさん泣きます。辛いときには動けなくなります。でも、それでいいのです。案外なんとかなります。その後にはきっと、なにか素敵なことが待っています。

もうひとつ、頭の片隅に置いておいてほしいことがあります。やりたいことができる時には、ぜひ全力で取り組んでください。年齢を重ねるごとに、全力でなにかをすることが減ってきます。悪いことではないですが、ふと気づいたときに後悔に繋がることがあります。そうならないように、やりたいことには全力でぶつかってください。

立ち止まってみたり、ゆっくり動いてみたり、時には全力を出してみたりしながら、みなさんがそれぞれの形で活躍している「輝く未来」を信じています。

卒業する君たちへ 第3学年主任 金井 尚哲



24期のみな、卒業おめでとう。3年間しんどいことも多々あったと思いますが、無事に卒業の日を迎えることができた事、嬉しく思います。先生もこの3年間で君たちから様々な事を学ばせてもらいました。

「信頼される、必要とされる人になってほしい」これは先生が3年間君たちに対して思いつけてきたことです。弱い自分を支えてくれた思いです。厳しいこともたくさん言ってきたと思いますが、ほんの少しでも君たちに届いていることを願っています。

この3年間でコロナをはじめ様々な変化がありました。君たちが「予想外」の出来事をどう捉え、そこに対してどう向き合っていくのか、という非常に難しい「問い」を投げかけられたように思います。まさにあなたたち自身が試されていたのだと思います。

これからは、人から注意されることは少なくなっていく、自分の価値基準に従って行動していくことになると思います。独りよがりの基準ではなく、多くの人から尊重されるような基準を今後の様々な経験を通して君たち自身が作り上げ、どんなことに対しても真摯に向き合い、「信頼される、必要とされる人」になってほしいと思います。

これからの君たちの健康と幸せを願っています。卒業おめでとう。そして3年間ありがとう。

卒業生のみなさんへ 第2学年主任 三原 生江



24期のみなさん、ご卒業おめでとうございます。私は、みなさんが1年生の時に国語を担当させていただきました。あの頃は、中学校を卒業したてで初々しくて、まだまだ子どもっぽさの抜けないみなさんを、「可愛いなあ。」と思いながらも、「でもこれからしっかりした大人になれるのかなあ。」と一抹の不安もありました。けれども、最近のみなさんは、すっかり顔つきが変わり、ぐんと大人になっています。「あの頃のあの子と同一人物?」と驚くようなこともあります。

みなさんは様々な変化の真只中で高校時代を過ごされました。学校生活だけで見ても、2年生からの50分授業への変更、コロナによる行事の中止・変更や部活動時間の短縮、そして2カ月以上にわたる休校、その他諸々。そして、日常的な3密回避。しんどいときに発散する場も減りました。我慢を強いられる中で、本当によく頑張られましたね。この大変な状況の中で頑張った自分を、まずは褒めてあげてください。この状況からすっきりと抜けるのはもう少し先になるのですが、高校時代の3年間はきっとこれからのみなさんの糧になると思います。これからも元気で、そして、ますます成長していけることを心からお祈りしています。

24期生のみなさんへ 第1学年主任 内藤 嘉信



24期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍において、みなさんにとっての学校生活は本当に大変なものだったと思います。休校、行事の縮小や変更、部活動の大会中止などたくさんの我慢をしてきたと思います。

私の娘もみなさんと同い年なので、教師の立場だけでなく、親の立場としてもつらい姿をずっと見てきました。そんな中で「できること」「すべきこと」をがんばってきたみなさんは本当に立派だと思います。「自分を励ましてくれるのは過去の自分だけ」という言葉があります。今後の人生でつまづいたり苦しんだりしたときに、高校3年間のがんばりがきつと励みになるはずですよ。

私は今宮高校に転動してきてまだ2年目ですが、今高生のポテンシャルの高さにはいつも驚かされます。今後の活躍を期待しています。

最後に、「無感人生空虚也」これは私の座右の銘です。これからの長い人生、たくさん経験の中で、存分に「感激」して素晴らしい人生を送ってください。



今宮PTA・自糧会 京都研修会：嵐山 11月20日(土)

コロナが少し落ち着いた頃、自糧会奥浦会長・伊藤副会長と共に京都研修会に行ってきました。

行きのバスの中で、会長達がいまみやんだった頃、制服の自由化の提案が行われ自治会で色々活動したなあと思い出話をしてくれました。

1時間程で到着。嵐山～亀岡までトロッコ列車に揺られ美しい紅葉にため息。

日頃のバタバタした時間ではなく、ゆっくりとした素敵な時間を過ごすことができました。湯豆腐懐石、嵐山散策、八つ橋手作り体験と。

「はんなり～してきたぞすえ～」



▲八つ橋手作り体験



☆ クラブ活動報告 ☆

〈能楽部〉

R3年12月25日 京都大江能楽堂「関西宝生流学生能楽連盟秋季大会」に仕舞で出場

12月26日 大阪天満の朝陽会館「松実会」に仕舞で出場

R4年1月30日 ドーンセンターホール「大阪府高等学校芸術文化祭 日本音楽部門」に謡『巴』で出場

〈美術部〉

R4年1月 「大阪府高等学校芸術文化祭 美術・工芸部門展示会」に出展

2年児野栄花さんが絵画部門で入選



ダンス部大会結果報告

令和3年11月13日(土) 開催のダンスドリル秋季大会 関西地区競技大会で選抜され、下記の大会に出場しました。

大会名：Dance Drill Winter Cup2022

第十三回全国高等学校ダンスドリル冬季大会

日程：令和4年1月15日(土)

会場：武蔵野の森総合スポーツプラザ

結果：ノベルティ部門1位

災害備蓄品が配布されました



水500ml 4本・白米・クッキー2箱が、3年生に配られました。消費期限まで間がありますので、卒業後は、ご自宅の災害備蓄品にしてください。

お知らせネット

詳しくは本校ホームページをご覧ください。

私服が認められている学校っていいよね

カーディガンの色ポイント！



生徒会活動の中心メンバー

今宮高校は大先輩の自治会活動により、私服が認められているところが魅力のひとつよね。式典以外は私服の生徒も多いけど、標準服をかわいくアレンジして着ている、いまみやんにスポットを当ててみたよ。

ちょっとPTAがざわついた!?

奇跡の再会

PTA広報で大変お世話になっている、中嶋先生と青木先生の話。

母校をこよなく愛する青木先生は国語科教諭、母校や過去をあまり振り返らない数学科教諭の中嶋先生。青木先生が念願の母校今宮での教師生活を満喫していたところに中嶋先生が転勤してきました。

聞けば、2人の母校も年齢も同じ！「あれれ・・・もしかして同級生？」当時の今宮高校は9クラスもあり文系・理系でクラスも別だった。会話どころか存在すら知らなかった2人。それが高校時代を振り返ると、共通の友人や当時の話題の先生の話が一致、同級生や～ん!!! 40年後母校で同僚として再会したのでした。総合学科になる前の今宮31期生の二人。現在も愛する母校でいまみやん育成の為頑張っています。

君たちの隣のクラス、いやその隣の隣のクラスの子と何年後かに同僚として再会するかもしれないね♪



編集後記

112号完成しました。

24期生、さあ！船出の時です。今宮で何回試験を受けたことでしょうか。

これからの人生の中でも色々な試験に取り組むことでしょう。

♪制限時間は あなたのこれからの人生

解答用紙は あなたのこれからの人生

答え合わせの 時には私はもういない

だから 採点基準は あなたのこれからの人生

RADWIMPSさんの歌を送ります。

「よーい はじめ」

広報委員一同